



関西支部若手企画委員会主催 「酒蔵見学会（2024/05/16）」開催報告

2024年5月16日、本会関西支部若手企画委員会主催の「酒蔵見学会」が月桂冠株式会社（京都府京都市）のご助力のもと、同社にて開催されました。本見学会では、若い世代が、我が国の生物工学の源流である清酒醸造への理解を深めつつ、同世代のネットワークをつくることを目的とし、若手企画委員13名に加え、試験的に若手企画委員が所属する大学の研究室の学生も参加し、計41名での見学会となりました。

初めに、月桂冠の醸造工場である大手蔵の見学を行いました。大手蔵の屋上から見る、酒造りに恵まれた伏見の立地の紹介や周辺の酒蔵をご紹介いただいた後、清酒が出来上がるまでの工程をご紹介いただきました。麴米や蒸米を食べる体験もさせていただき、麴米の甘さや日頃食べている炊いた米との食感の違いを体験しました。また、上の階から下の階に向けて酒造りが完結する合理的な構造になっており、清酒の中では世界で初めて生酒を常温流通可能とした技術力の高さを感じました。また、酒造りは神事であるという観点から、構内に神社が作られており、酒造会社ならではの施設も案内いただきました。

見学案内の後は、若手企画委員会代表の畑健介氏（大関酒造株式会社）より、本会関西支部若手企画委員会の紹介の後、若手企画委員会の根来宏明氏（月桂冠株式会社）より、月桂冠の歴史や成り立ち、現在の総合研究所で行っている研究についてご紹介いただきました。

また、本見学会では異分野交流の新たな試みとして、2分間で研究紹介をしていただくフラッシュトーク企画を行いました。参加した学生の中からあらかじめ発表者を募り、12名の方に発表していただきました。2分という短い時間の中で、研究テーマの背景から結果・今後の展望までを分かりやすく簡潔に伝えるための創意工夫がプレゼン資料やトークに込められており、活気あふれる研究紹介をしていただきました。また、質疑応答を兼ねて行ったその後のきき酒会では、若手企画委員の所属する会社から提供いただいた酒類や菓子類を片手に、フラッシュトークの内容や商品に対する質問も飛び交い、賑やかな会となりました。

若手企画委員会では、今回の試みで得た手応えをもとに、今後も引き続き、若手目線での企画を検討していく予定です。これからも、学会活動を盛り上げていきますので、今後ともご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

（関西支部若手企画委員会 手島 史織）



見学会の様子



会社紹介、研究紹介の様子



きき酒会の様子



参加者の集合写真